

## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日までの1年
定時株主総会	毎年6月
株式名義書換	株主名簿管理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
	同事務取扱場所 東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
	(お問合せ先) 〒135-8722 東京都江東区佐賀一丁目17番7号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-288-324 (フリーダイヤル)
	同 取 次 所 みずほ信託銀行株式会社 全国各支店 みずほインベスターズ証券株式会社 本店及び全国各支店
単元株式数	1株
公告方法	当社ホームページ ( <a href="http://www.nic-inc.co.jp/index.html">http://www.nic-inc.co.jp/index.html</a> ) に掲載します。 ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
上場証券取引所	ジャスダック証券取引所
証券コード	5742



### エヌアイシ・オートテック株式会社

〒939-0034 富山県富山市清水元町7番8号  
<http://www.nic-inc.co.jp/>

**JASDAQ**  
証券コード：5742

## 第36期 事業報告書

平成18年4月1日から平成19年3月31日まで



エヌアイシ・オートテック株式会社

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

第36期（平成18年4月1日から平成19年3月31日まで）の事業の概況及び決算につきまして以下のとおりご報告申し上げます。

当事業年度におけるわが国経済は、個人消費については若干弱さが見られたものの、好調な企業収益を背景とした設備投資の増加等により、景気は穏やかながらも拡大を維持してきましたが、原油価格や鋼材、ステンレス、アルミニウム等の原材料の高値、金利上昇懸念など、先行き不透明感を払拭できない状況でありました。

このような状況のもと、当社は依然好調な次世代フラットパネルディスプレイ（以下「FPD」という。）や自動車部品の製造関連企業から継続的な受注を確保し、順調に推移しました。

この結果、当事業年度の売上高は7,001百万円（前期比48.0%増）、営業利益は426百万円（前期比18.8%増）、経常利益は424百万円（前期比14.4%増）、当期純利益は239百万円（前期比8.1%増）となりました。

## 各事業部門の売上構成

（単位：千円）

区 分	第35期		第36期		増 減	
	平成18年3月期		平成19年3月期		売上金額	前年比
	売上金額	構成比	売上金額	構成比		
アルファフレーム部門	1,804,054	38.2%	1,991,882	28.4%	187,828	110.4%
装置部門	1,443,964	30.5%	2,086,247	29.8%	642,283	144.5%
商事部門	1,482,250	31.3%	2,923,439	41.8%	1,441,189	197.2%
合計	4,730,269	100.0%	7,001,569	100.0%	2,271,300	148.0%

### ① アルファフレーム部門

当部門におきましては、順調に推移しておりました自動車関連業界の需要に一服感が見られ、当中間期の売上高は前年同期実績を下回る結果となりましたが、薄型テレビを軸とするデジタル家電関連業界は引き続き好調を維持し、特に下半期には大口物件を含んだ安定した需要に支えられて売上高は伸長いたしました。また、平成19年1月より、「アルファフレームシステム高剛性フレーム」をはじめとした新商品・新シリーズを投入し、販売強化に努めました。

これらの結果、当部門の売上高は1,991百万円（前期比10.4%増）となりました。

一方、アルミニウム地金をはじめとした原材料価格が高値で推移する中、仕入先・調達ルートの見直しや、生産ラインの改良等による製造原価の抑制にも注力してまいりました。なお、前事業年度に導入いたしました統合管理システムの機能追加や改善も随時行い、更なる業務効率化を推進しております。

### ② 装置部門

当部門におきましては、前事業年度から継続しているFPD製造装置用カスタムクリーンブースの受注が当事業年度も堅調に推移したことで、当事業年度中に新規引合があった光ディスク製造用自動化装置の大口受注に成功したことにより、大幅な増収となり、この2つの製品に関連する売上高は当事業部門の売上高の約56%となりました。

一方、原材料価格の高騰等により製造原価比率はアップしましたが、売上高の増加と設計・組立を中心としたコスト削減に注力し、利益確保に努めました。

これらの結果、当部門の売上高は2,086百万円（前期比44.5%増）となりました。

なお、当事業年度は当社保有技術を活かした自動化装置の拡販に注力して、新たな自動車部品の検査装置を受注し納入了いたしました。顧客の厳しい技術基準をクリアしている製品として高い評価を受けておりますが、今後のリピート受注を目指して継続的な技術の改良・改善に取り組んでまいります。

### ③ 商事部門

当部門におきましては、国内市場の好況、特に軸受・工作機械業界などの好況維持を背景に、地元富山における大手企業も設備投資が活発となり、国内工場向けの部品加工機械、組立機械、精密測定機等の大型機械設備物件を受注したことによって、機械設備関係の売上高は大幅に伸長いたしました。

このような状況のもと、顧客の生産量も好調に推移し、砥石や一般購入品等の受注も堅調に推移いたしました。

これらの結果、当部門の売上高は、2,923百万円（前期比97.2%増）となりました。

期末配当金につきましては、当社将来の事業展開と経営体質強化のために必要な内部留保を確保しつつ、継続的な安定した配当を実施した結果、1株につき850円とさせていただきます。

株主優待につきましては、日頃からの株主の皆様のご厚情に感謝し、弊社創業80周年を記念したオリジナルデザインのクオカード1,000円券を1枚贈呈いたします。

なお、当社は平成18年6月23日にジャスダック証券取引所に上場いたしました。これもひとえに株主の皆様のご支援の賜物と厚く御礼申し上げます。

当社は、お客様の多様なニーズに応えるよう企業体質の強化を図り、今後新たな構造部材にも目を向け、技術革新にも積極的に対応し、市場ニーズに沿った研究開発等を行い、業容の拡大を推進しております。そして、パブリックカンパニーとしての社会的責任を十分に認識し、お客様、株主、社員及び地域社会の期待に応えるべく、全社を挙げて社業の発展を図る所存でございます。

株主の皆様には、今後とも尚一層のご支援を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

平成19年6月

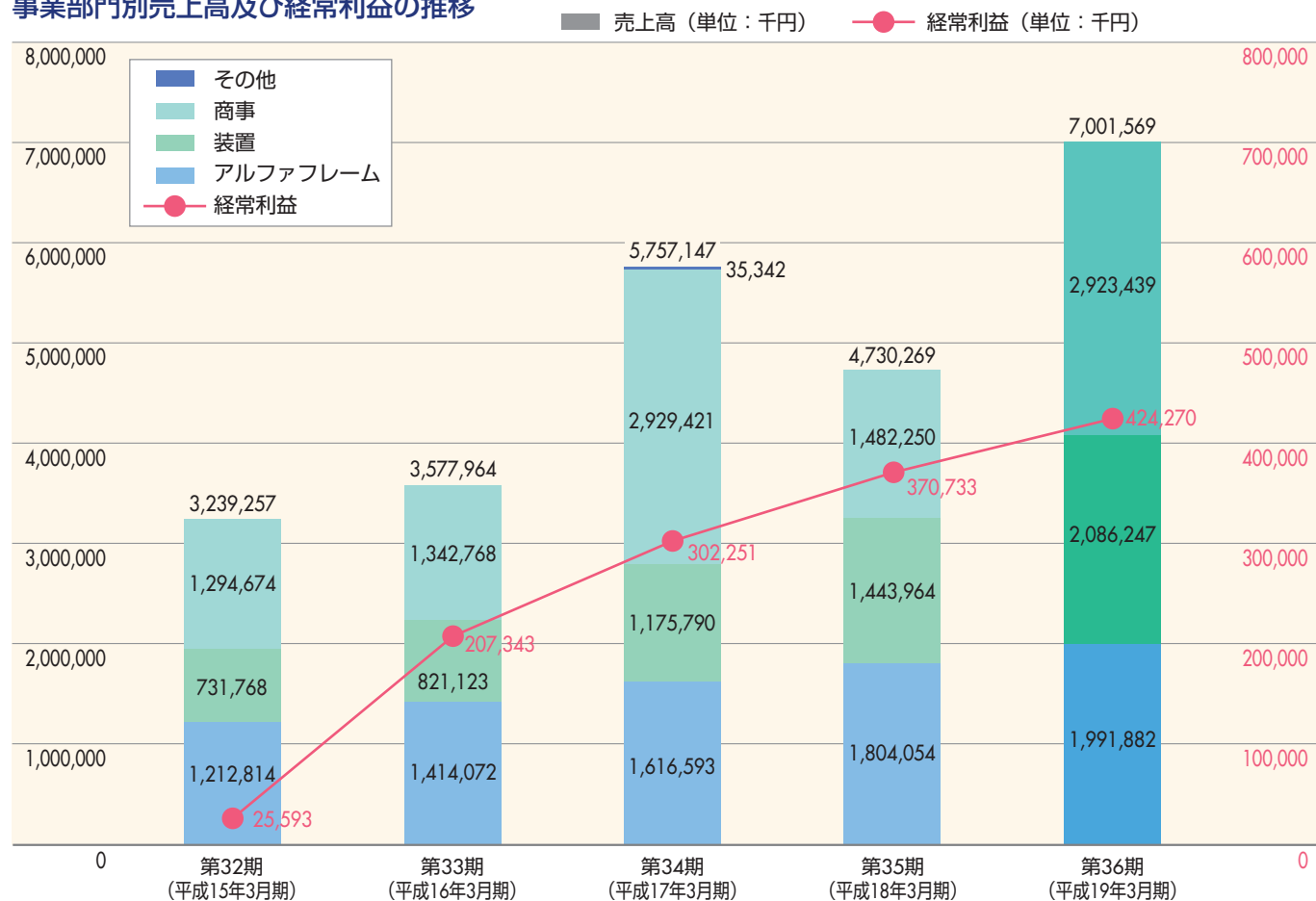
代表取締役社長 西川 浩 司

本ページ及びこれに続く図表等は、当社の概況等を要約・作成したものであります。  
詳細は、本文の該当ページをご覧ください。

## 事業の概況

当社は、工場の生産ライン等のアルミ構造材として利用されるアルファフレーム並びにフレームを結合するブラケット等のアルファフレーム補助部品（これを総称して「ALFA FRAME® SYSTEM」という。）の開発・設計・製造・販売を行う『アルファフレーム部門』、アルファフレームの特徴を活かした各種工場の自動化装置やクリーンブース、マシンカバー等の構造物の開発・設計・製造・販売を行う『装置部門』及び工場機械の仕入・販売並びに工業消費財の仕入・販売を行う『商事部門』の3部門体制で生産技術のノウハウや知識を相互に共有して付加価値の高い製品づくりを主眼とした事業展開を行っております。

### 事業部門別売上高及び経常利益の推移



## 業績等の推移 ①

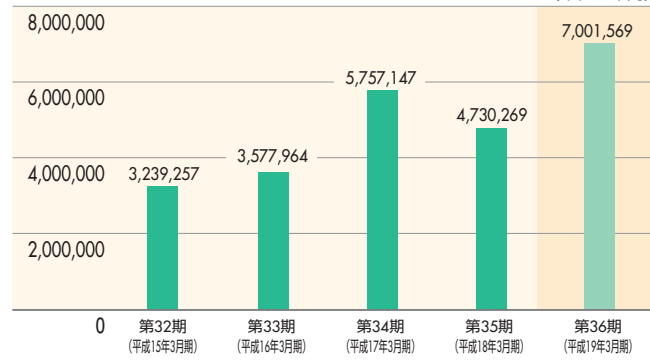
### 主要な経営指標等の推移

回次	第32期	第33期	第34期	第35期	第36期
決算年月	平成15年3月	平成16年3月	平成17年3月	平成18年3月	平成19年3月
売上高 (千円)	3,239,257	3,577,964	5,757,147	4,730,269	7,001,569
経常利益 (千円)	25,593	207,343	302,251	370,733	424,270
当期純利益 (千円)	48,632	129,405	157,254	221,929	239,885
持分法を適用した場合の投資利益 (千円)	—	—	—	—	—
資本金 (千円)	25,000	25,000	25,000	25,000	156,100
発行済株式総数 (株)	50,000	50,000	50,000	50,000	55,000
純資産額 (千円)	1,766,716	1,912,060	2,048,356	2,285,479	2,721,932
総資産額 (千円)	3,366,557	3,694,958	4,294,995	3,977,393	4,706,507
1株当たり純資産額 (円)	35,174.32	38,241.20	40,967.13	45,709.58	49,489.68
1株当たり配当額 (円)	100	750	750	750	850
(内、1株当たり中間配当額)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)
1株当たり当期純利益 (円)	812.65	2,588.11	3,145.09	4,438.58	4,452.49
潜在株式調整後1株当たり当期純利益 (円)	—	—	—	—	—
自己資本比率 (%)	52.5	51.7	47.7	57.4	57.8
自己資本利益率 (%)	2.8	7.0	7.9	10.2	9.6
株価収益率 (倍)	—	—	—	—	18.2
配当性向 (%)	12.3	29.0	23.8	16.9	19.1
営業活動によるキャッシュ・フロー (千円)	—	245,808	143,906	77,543	453,698
投資活動によるキャッシュ・フロー (千円)	—	△13,894	△119,783	66,511	△73,552
財務活動によるキャッシュ・フロー (千円)	—	△167,470	△179,770	△167,247	△251,621
現金及び現金同等物の期末残高 (千円)	—	346,020	190,307	167,115	295,640
従業員数 (名)	99	105	118	121	140
(外、平均臨時雇用者数)	[12]	[24]	[36]	[36]	[28]

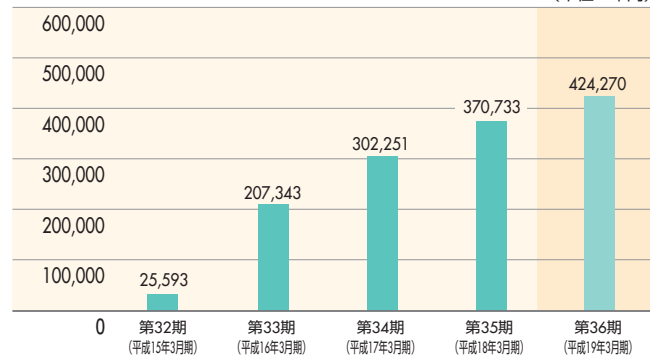
(注) 1 当社は連結財務諸表を作成しておりませんので、連結会計年度等に係る主要な経営指標等の推移については記載しておりません。  
 2 売上高には、消費税等は含まれておりません。  
 3 持分法を適用した場合の投資利益につきましては、関連会社がないため記載を省略しております。  
 4 第33期以降の財務諸表につきましては、証券取引法第193条の2の規定に基づき、監査法人トーマツの監査を受けておりますが、第32期につきましては、当該監査を受けておりません。  
 5 潜在株式調整後1株当たり当期純利益につきましては、潜在株式が存在しないため記載しておりません。  
 6 第35期までの株価収益率は、当社株式が非上場であり、期中平均株価の把握が困難なため記載しておりません。  
 7 従業員数欄の(外書)は、臨時従業員の年間平均雇用人員(1日8時間換算)であります。ただし、第32期については期末日における臨時従業員数であります。

## 業績等の推移 ②

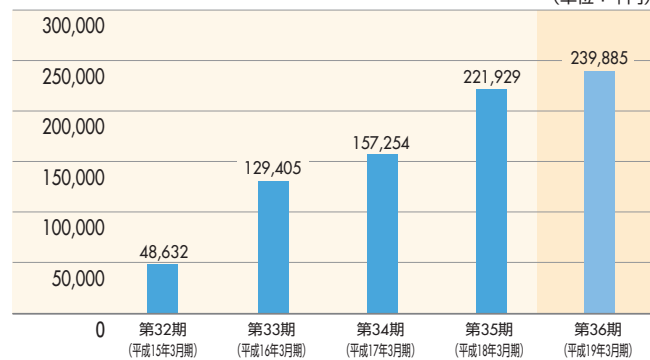
### 売上高



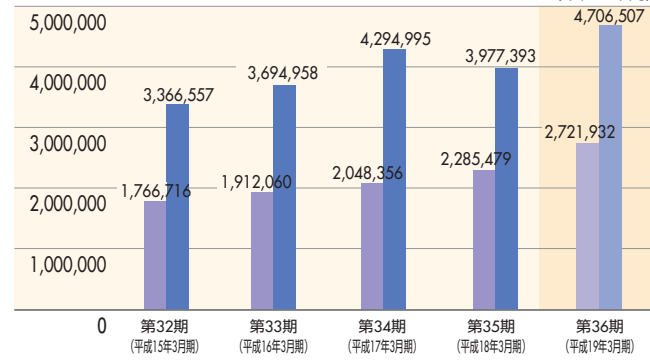
### 経常利益



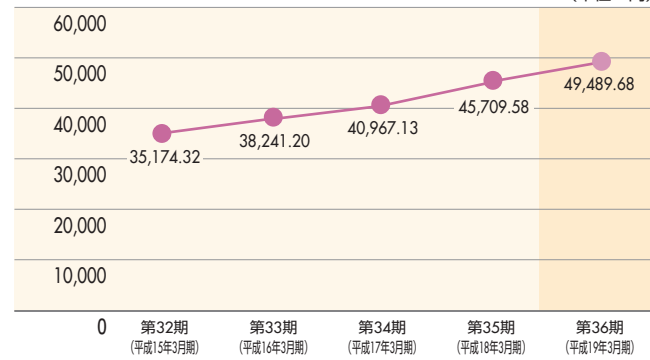
### 当期純利益



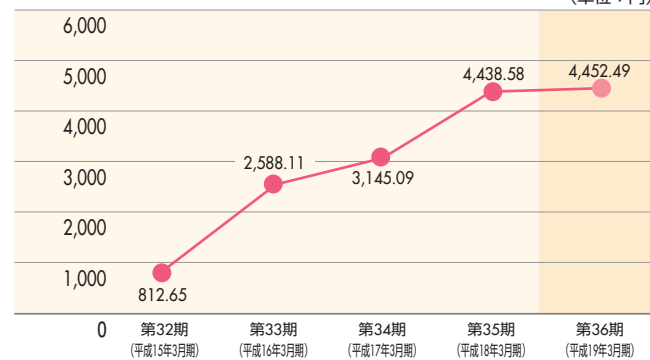
### 純資産額/総資産額



### 1株当たり純資産額



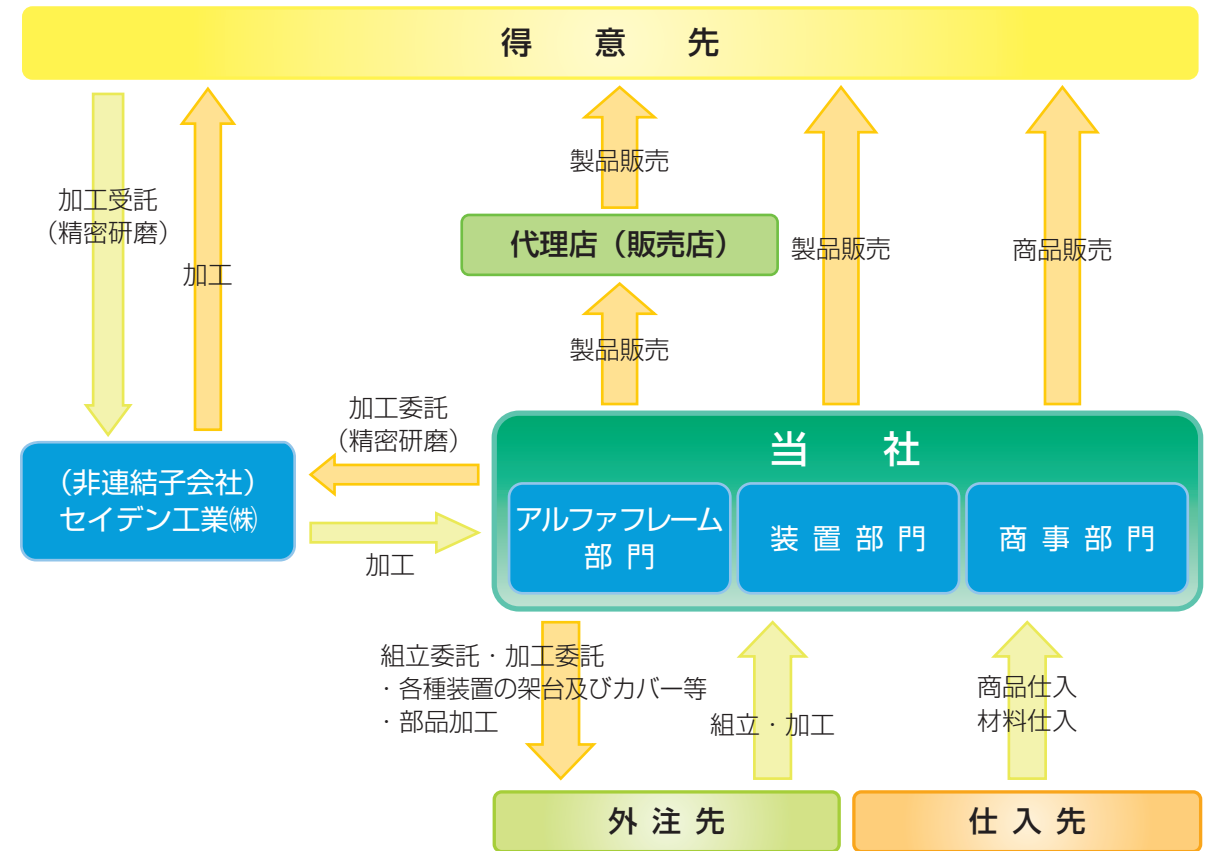
### 1株当たり当期純利益



## 事業の内容

当社は、アルミ構造材として利用されるアルファフレーム並びにフレームを結合するブラケット等のアルファフレーム補助部品（これらを総称して「ALFA FRAME® SYSTEM」という。）の開発・設計・製造・販売を行う『アルファフレーム部門』、アルファフレームの特徴を活かした各種工場の自動化装置やクリーンブース、マシンカバー等の構造物の開発・設計・製造・販売を行う『装置部門』及びこれら「メーカー機能」を活用した設備導入提案等を行う工業生産財を取り扱う商社としての『商事部門』の3部門体制で生産技術のノウハウや知識を相互に共有して付加価値の高い製品づくりを主眼とした事業展開を行っております。

### 事業系統図



## ① アルファフレーム部門

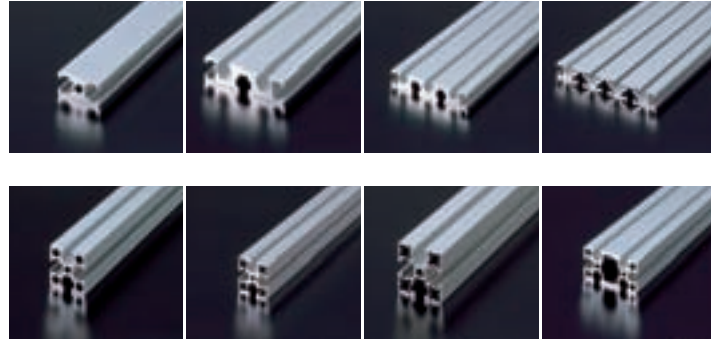
昭和61年にアルミ構造材「ALFA FRAME® SYSTEM」を開発して以来、それを使用した装置メーカーとして、より幅広い分野のお客様に応える技術とサービスを提供してまいりました。

これらの豊富な経験を活かして、生産ラインの変化により的確に対応できる新シリーズを継続的に開発し、シリーズの拡充を図ったことにより、現在では230種類を超える製品を販売するに至っております。

また、お客様のニーズに当社の「ALFA FRAME® SYSTEM」が対応できない場合には、開発部門において当社の技術をもとに最適な専用の断面形状を提案し、お客様専用フレームの受注販売も行っております。



### ★ アルファフレーム



### ★ アルファフレーム補助部品



## ② 装置部門

設立以来培ってきた「洗浄」・「検査」・「搬送」・「梱包」の主要な要素技術をベースに自動車関連分野をはじめ幅広い業種に、自動・省力化（以下「FA（ファクトリーオートメーション）」という。）装置及びクリーンブースの開発・設計・製造・販売を行っております。

また、当該装置には「ALFA FRAME® SYSTEM」を基本部材として使用することにより、製造の効率化や短納期化が可能となり、サイズ及び仕様を規格化した製品だけでなく、お客様の仕様に合わせた製品開発も行っております。

### 【主な製品】

● FA装置  
(洗浄装置、検査装置、  
搬送・梱包装置等)



★ 洗浄装置（高圧ボックス式）



★ 検査装置



★ 搬送・梱包装置

### ● クリーンブース



★ カスタムクリーンブース（ハードウォールタイプ）



★ 標準クリーンブース  
(ソフトウォールタイプ)

### ● アルミ構造物（機械の構造体、安全カバー等）



★ 機械装置用安全カバー

### ③ 商事部門

工業用砥石、鋸、工具・ツール等の消耗品と工場等の機械設備が主要な取扱商品であります。これらは、リピート受注が多いことが特徴となっており、この安定した消耗品関係ビジネスが、当社の安定的な収益にも大きく貢献すると考えております。

また、装置部門との連携により当社製品を活用した機械設備の導入提案等を行い、多種多様なお客様のニーズに応じて製商品を提供しております。



★ 工業用砥石



★ 油脂類



★ 工具・ツール



★ 機械設備

### 技術開発センター



## 貸借対照表

貸借対照表 (平成19年3月31日現在)

(単位：千円)

科 目		金 額	科 目		金 額
資 産 の 部			負 債 の 部		
流 動 資 産	及 び 預 金	3,069,519	流 動 負 債		1,862,729
現 金	取 掛 手	295,640	支 払 手 形		1,028,146
受 売 取 掛		1,239,460	設 備 支 払 手 形		47,930
商 製 材	掛 金	695,865	買 掛 金		482,789
半 原 仕 貯 前 繰 延 税 引 当 金	製 材 掛 蔵 費	25,287	1 年 以 内 償 還 予 定 社 債		40,000
そ の 他 の 引 当 金		4,424	未 払 金		64,889
		39,646	未 払 法 人 税 等		116,244
		232,106	未 払 消 費 税 等		20,156
		482,853	未 払 費 用		18,789
		9,979	前 受 金		37
		4,517	預 り 金		4,048
		37,097	賞 与 引 当 金		39,696
		3,256	固 定 負 債		121,846
		△ 618	社 債		20,000
固 有 形 固 定 資 産		1,636,988	退 職 給 付 引 当 金		101,846
建 設 費		1,230,625	負 債 合 計		1,984,575
構 造 費		1,328,995	純 資 産 の 部		
機 械 及 び 装 置		△ 687,035	株 主 資 本		2,651,668
運 搬 具 器 具 及 び 備 品		96,928	資 本 金		156,100
土 地 建 設 費		△ 81,064	資 本 剰 余 金		146,100
そ の 他 の 資 産		179,988	資 本 準 備 金		146,100
投 資 有 価 証 券		△ 146,216	利 益 剰 余 金		2,349,468
出 産 更 生 積 立 金		△ 31,349	利 益 準 備 金		8,750
繰 上 償 還 金		△ 28,521	そ の 他 利 益 剰 余 金		2,340,718
そ の 他 の 引 当 金		△ 148,090	別 途 積 立 金		1,430,000
		△ 88,792	繰 越 利 益 剰 余 金		910,718
		20,000	評 価 ・ 換 算 差 額 等		70,263
		456,904	そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金		70,263
無 形 固 定 資 産		9,585	純 資 産 合 計		2,721,932
ソ フ ト ウ ェ ア		7,742	負 債 及 び 純 資 産 合 計		4,706,507
投 資 有 価 証 券		1,842			
出 産 更 生 積 立 金		396,777			
繰 上 償 還 金		192,449			
そ の 他 の 引 当 金		20,000			
		5,370			
		54			
		144,364			
		26,600			
		3,706			
		28,932			
		△ 24,700			
資 産 合 計		4,706,507			

# 損益計算書

損益計算書 (平成18年4月1日～平成19年3月31日)

(単位：千円)

科 目	金 額	
売上高		7,001,569
売上原価		5,637,474
売上総利益		1,364,095
販売費及び一般管理費		938,078
営業利益		426,016
営業外収益		
受取利息	83	
受取配当金	3,046	
賃料収入	1,286	
仕入割引	6,782	
その他	3,299	14,499
営業外費用		
支払利息	3,474	
社債利息	1,159	
株式交付費用	10,379	
賃借費用	650	
その他	580	16,245
経常利益		424,270
特別利益		
貸倒引当金戻入益	1,337	
投資有価証券売却益	2,178	3,516
特別損失		
固定資産売却損	251	
固定資産除却損	3,207	
リース解約損	2,701	6,160
税引前当期純利益		421,626
法人税、住民税及び事業税	193,268	
法人税等調整額	△ 11,527	181,741
当期純利益		239,885

# 株主資本等変動計算書

株主資本等変動計算書 (平成18年4月1日～平成19年3月31日)

(単位：千円)

	株 主 資 本							株主資本合計
	資本金	資本剰余金		利益準備金	利益剰余金			
		資本準備金	資本剰余金合計		その他利益剰余金	利益剰余金合計		
					別途積立金	繰越利益剰余金		
前期末残高	25,000	15,000	15,000	8,750	1,430,000	708,332	2,147,082	2,187,082
当期変動額								
新株の発行	131,100	131,100	131,100				—	262,200
剰余金の配当(注)			—			△ 37,500	△ 37,500	△ 37,500
当期純利益			—			239,885	239,885	239,885
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)			—				—	—
当期変動額合計	131,100	131,100	131,100	—	—	202,385	202,385	464,585
当期末残高	156,100	146,100	146,100	8,750	1,430,000	910,718	2,349,468	2,651,668

(単位：千円)

	評 価 ・ 換 算 差 額 等		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
前期末残高	98,396	98,396	2,285,479
当期変動額			
新株の発行		—	262,200
剰余金の配当(注)		—	△ 37,500
当期純利益		—	239,885
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△ 28,132	△ 28,132	△ 28,132
当期変動額合計	△ 28,132	△ 28,132	436,453
当期末残高	70,263	70,263	2,721,932

(注) 平成18年6月の定時株主総会における利益処分項目であります。

## 会社の概要

### 会社の概要 (平成19年3月31日現在)

社名	エヌアイシ・オートテック株式会社 NIC Autotec, Inc.												
設立	昭和46年5月17日												
資本金	156,100千円												
従業員数	140名												
事業所	<table> <tr> <td>本社</td> <td>〒930-0034 富山県富山市清水元町7番8号</td> </tr> <tr> <td>東京本社</td> <td>〒135-0063 東京都江東区有明三丁目1番25号</td> </tr> <tr> <td>流杉工場</td> <td>〒939-8032 富山県富山市流杉225番地</td> </tr> <tr> <td>立山工場</td> <td>〒930-0272 富山県中新川郡立山町塚越398番176号</td> </tr> <tr> <td>技術開発センター</td> <td>同上</td> </tr> <tr> <td>関西作業場</td> <td>〒578-0965 大阪府東大阪市本庄西二丁目4番29号</td> </tr> </table>	本社	〒930-0034 富山県富山市清水元町7番8号	東京本社	〒135-0063 東京都江東区有明三丁目1番25号	流杉工場	〒939-8032 富山県富山市流杉225番地	立山工場	〒930-0272 富山県中新川郡立山町塚越398番176号	技術開発センター	同上	関西作業場	〒578-0965 大阪府東大阪市本庄西二丁目4番29号
本社	〒930-0034 富山県富山市清水元町7番8号												
東京本社	〒135-0063 東京都江東区有明三丁目1番25号												
流杉工場	〒939-8032 富山県富山市流杉225番地												
立山工場	〒930-0272 富山県中新川郡立山町塚越398番176号												
技術開発センター	同上												
関西作業場	〒578-0965 大阪府東大阪市本庄西二丁目4番29号												

### 役員構成 (平成19年6月23日現在)

代表取締役社長	西川浩司
取締役副社長	西川武
取締役	土山邦夫
取締役	西尾謙夫
取締役	光用勝也
社外取締役	伊藤慈国
常勤監査役	藤島敏夫
社外監査役	土屋重義
社外監査役	白石康広

### 会計監査人

監査法人トーマツ 東京都港区芝浦四丁目13番23号

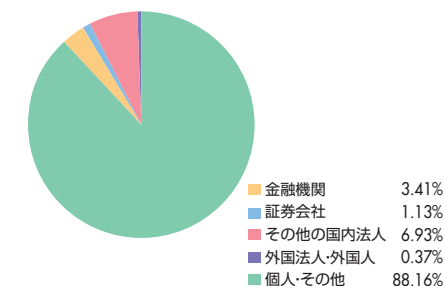
### 株式の状況 (平成19年3月31日現在)

- (1) 発行可能株式総数 200,000株  
 (2) 発行済株式の総数 普通株式 55,000株  
 (3) 株主数 2,692名  
 (4) 大株主の状況

株主名	持株数
西川浩司	37,049株
三協立山アルミ株式会社	2,000株
ダイドー株式会社	700株
日本証券金融株式会社	669株
エヌアイシ・オートテック従業員持株会	660株
西川武	500株
株式会社三井住友銀行	500株

### (5) 所有者別株主分布状況 (所有株式数)

所有者区分	株数	構成比率
金融機関	1,873株	3.41%
証券会社	622株	1.13%
その他の国内法人	3,812株	6.93%
外国法人・外国人	205株	0.37%
個人・その他	48,488株	88.16%



### (6) 所有者別株主分布状況 (株主数)

所有者区分	人数	構成比率
金融機関	5名	0.19%
証券会社	16名	0.59%
その他の国内法人	29名	1.08%
外国法人・外国人	8名	0.29%
個人・その他	2,634名	97.85%

